豊島区民社協キャラクター ふくじい

コミュニティソーシャルワーカー

C S W 通 信

3 月号

CSW（コミュニティソーシャルワーカー）とは・・・

福祉に限らず暮らしのこと全てのご相談に対して、一人ひとりの生活や思いに寄り添いながら地域のみなさんや関係機関・団体等と協力して、解決に向けたお手伝いをしています。

CSW は、8 か所の区民ひろばに常駐しています。（豊島区から受託）

区民ひろば高南第一で 高田の語り部 が開催されました

「ミャンマーの歴史と文化」 ～高田の街で日本とミャンマーのかけはしに～

2月10日（土） 区民ひろば高南第一で、地域関係者のお話をきく「高田の語り部」が開催されました。

今回の語り部は NPO法人ミャンマー日本教育のかけはし協会理事長のチョウ・チョウ・ソーさんです。28歳で来日し、高田でルビーというミャンマー料理レストランをされています。

お話は、日本とミャンマーの文化や地域生活な興味深い内容でした。

ミャンマーは、地理的にはインドと中国という大国にはさまれ、それぞれの文化の影響を強く受けた国です。敬虔な仏教徒が多く、「パゴダ」がたくさんあり、人々はたくさんお寺に寄進します。子どもの頃、食事は父、母、年長のきょうだい、最後に末っ子の自分がおかずを取るというような食習慣がありました。

ミャンマーと日本との関わりは深く、「ビルマの竪琴」の話は日本人にはよく知られています。前政権では日本企業の進出や人的交流など関係が強まりました。しかし、2021年のクーデターにより、現在は自由のない厳しい状況が続いています。在日ミャンマー人はコロナ前の約3.7万人から、現在は約7万人に増え、多くの技能実習生が日本に住んでいます。

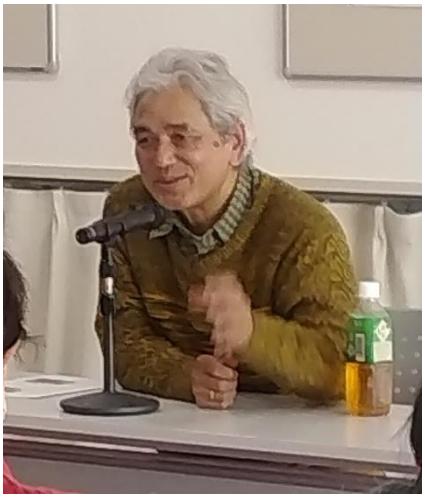
チョウさんは、①自国の文化を大切にすること②日本の文化や習慣を知ってなじむこと、が大切だと考えています。地域に住む外国人には、言葉が分からず日本の地域に溶け込めない人もいます。そのため、日本語教室を開く、日本のゴミ出しルールを伝えるなどしてお互いがうまく暮らしていけるような活動をしています。

51 名の方が参加され、会場は熱気に包まれました。

国際的な視点での語り部は、区民ひろばでも初めての試みだったそう。

地域の皆さんの関心の高さに驚きました。

日本とミャンマーの食の共通点は「納豆」があること。ただし、ミャンマーの納豆はネバネバしません。



コミュニティソーシャルワーカー

C　S　W　通信

ふくろうの杜圏域

予約不要

暮らしの何でも相談会

無料

3/11(月)
10:30～12:00
スマイル体操
@区民ひろば南池袋
（南池袋 3-5-12）

3/18(月)
13:30～14:30
アンチエイジング
@高田介護予防センター
（高田3－38－7）

3/4(月)
13:00～14:00
高南文化祭開催中
@区民ひろば高南第一
（高田2－11－2）

3/22(金)
11:00～12:00
みんななかよし
@区民ひろば高南第二
（高田 3-38-7）

3/13(水)
10:00～11:00
ポンタ先生のパワーアップ体操
@区民ひろば目白
（目白2－20－26）

CSWがお話を伺い、関係機関や地域情報などをご紹介しますので、お気軽にお越しください。

学習院大学で学生の「多文化共修ポスター発表」を視察しました

1/16(火)学習院大学の講義である「多文化共修」で、学生が**多文化共生を促進するための方法**のワークを行った発表がありました。

社協CSWもお招きを受け、近くの区民ひろば目白の所長、南池袋の事務局長をお誘いして発表を視察してきました。

食の多様性に焦点をあてたグループ、アプリなどで交流しながら困りごとの解決を図ろうと考えたグループなど、7つのグループの発想はさまざまでした。

そして、1つのグループから「地域住民の方と異文化交流をしたい」という申し出がありました。ポスター発表をきっかけに、地域での企画に向け、現在話し合いをすすめています。

社会福祉法人　豊島区民社会福祉協議会
CSW　ふくろうの杜圏域担当　松里・髙梨
（区民ひろば高南第二内）
開所時間　月～金　9:00～17:00
（祝日・年末年始除く）
TEL・FAX　03-6890-2950
メールアドレス
csw_kounan@t.toshima.ne.jp

メールアドレス
読み取りコード

豊島区民社協　SNS やってます

豊島区民社協では、Instagram、LINE でも情報発信を行っています。
ぜひ覗いてみてください♪

➡社協公式 SNS はこちら！